

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		賀数 清孝	所 属		理学部 物質地球科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.35	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究学生2名を指導する。 波動論、量子力学特論、量子力学演習、複素関数論を担当する。 オフィスアワーの充実など、学生が質問に来やすいように時間を設定し、丁寧に対応し指導する。 		0.35	ほぼ目標を達成した。			
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> 量子位相、量子情報、熱場の理論の研究を推進する。 量子位相とランジュバン方程式の関連の解明を目指す。 		0.25	目標設定された研究はできなかった。新たに「電磁波と生体に関する共鳴理論」の資料収集をした。これらは古典物理に基づいているので、今後、量子論の応用が必要である。			
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 免許更新講習を実施する。 オープンキャンパスに積極的に参加する。 公開講座を実施する。 社会から専門性を生かした要請があれば積極的に対応する。 		0.20	免許更新講習は参加者が少なく中止した。他はほぼ目標を達成した。			
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 物理系の非常勤講師や退職教員の教育研究環境を整備する。 		0.10	コンピュータや椅子などを整備し、ほぼ目標を達成した。			
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究学生の進学、就職の指導に当たる。 就職支援、進学支援のために、必要な情報を収集し、提供する。 		0.10	ほぼ目標を達成した。			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		稲岡 毅	所 属	理学部 物質地球科学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育科目「物理学I・II」、専門教育科目「物理数学I・IV」、大学院教育科目「素励起物理学」(前期課程)、「表面物理学」(後期課程)を担当する。研究室では、学部4年次生、前期課程1年次生の研究指導を行う。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育科目「物理学I・II」、専門教育科目「物理数学I・IV」、大学院教育科目「素励起物理学」(前期課程)の授業を行った。学部の各科目で小テストを2回行い、学生の自己学習を促した。研究室では、4年次生の研究指導を行った。また、副指導教員として、前期課程1年次生の研究指導を行った。 	
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・国際誌に学術論文を投稿する。 ・所属する学会、研究会で研究発表を行う。 ・科研費の研究の進展を図る。 ・他大学の研究者と共同研究を行う。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・国際誌に学術論文が3編掲載された(いずれも第一著者)。 ・学会で3件、その他の研究発表会で1件の研究発表を行った(いずれも第一発表者)。 ・上記の掲載論文のうちの2編は、科研費の研究の成果である。 ・上記の学会発表のうちの1件は、他大学の研究者との共同研究の成果である。 	
社会貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習を開講する。 ・学部授業科目「物理学I・II」、「物理数学I・IV」を、公開授業として社会人および高校生に公開する。 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習を開講した(他の教員2名と共同)。 ・学部授業科目4科目を公開授業として社会人および高校生に公開し、延べ7名の社会人、1名の高校生を受け入れた。 	
管理運営	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価担当の副学部長として、学部自己評価委員会委員長、全学大学院委員、全学年度計画策定委員を務める。学部自己評価書の作成を統括する。 ・所属系の入試検討委員を務める。募集要項の点検、入試方法の検討などを行う。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価担当の副学部長として、学部自己評価委員会を統括した。4回提出する年度計画プロジェクトシートの点検、手直しを行った。学部自己評価書の作成を統括し、基準5 教育内容及び方法(34ページ)を執筆した。また、全学の大学院委員、国際交流に関する自己点検・評価委員を務めた。 ・所属系の入試検討委員を務め、募集要項の点検などを行った。 	
進路指導	0.05	研究室の指導教員として、就職、大学院進学などについて学生の相談に応じ、学生の進路模索を支援する。		0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室の指導教員として、就職活動について学生の相談に応じ、学生の就職を支援した。 ・研究室学生の教育実習の研究授業に出席し、授業方法の助言を行った。 	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		梯 祥郎	所 属		理学部 物質地球科学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.40	物理学I・II, 基礎ゼミ・II, 物理数学II, および物性理論の講義をとおして学生の基礎学力向上に努める。 カリキュラム検討委員として教育内容・システムの改善に努める。		0.40	物理学I・II, 基礎ゼミ・II, 物理数学II, および物性理論の講義をとおして学生の基礎学力向上に努めた。シラバス点検をおこない、授業担当の機会均等に努めた。博士課程指導学生1名の学位取得を達成した。		
研究	0.40	長距離非局所動的CPA理論を定式化し、モデル計算によって有限温度における非局所電子相関の役割を明らかにする。昨年定式化した第1原理動的CPA理論を反強磁性金属へ応用。第1原理運動量依存電子相関変分理論を大学院生と共に発展させる。		0.40	原著論文3編を出版できた。数値計算は進行中。		
社会貢献	0.05	予定された社会貢献はないが、学内外からの要請があれば、前向きに対応する。		0.00	学内外からの要請があれば前向きに対応する予定であったが、今年度は特になかった。		
管理運営	0.10	物理系入試検討委員としてその業務を十分に果たす。 物理系カリキュラム検討委員としてその業務を十分に果たす。		0.10	物理系入試検討委員としてその業務を十分に果たした。 物理系カリキュラム検討委員としてその業務を十分に果たした。		
進路指導	0.05	研究室所属学生の就職・進路に対して適切な助言・指導を行う。		0.10	研究室所属学生の学生生活・就職・進路に対して適切な助言・指導を行った。		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		瓜生 康史		所 属		理学部 物質地球科学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	「物理学入門I, II」, 「プログラミング入門」, 「計算物理学」の講義, 卒業研究指導, 及び「相対論的宇宙物理学入門」の大学院講義を行う。学生の理解度を把握しつつ授業を進めるよう注意する。コンピュータ関連科目ではTAを採用し実習時の質問にきめ細かく答えながら講義を進める。				0.20	学部向け講義については毎回講義の補助教材としてプリントを準備, 学期中のレポートによる課し学生の理解度の把握, 実習の補助のためのTAの活用など, 計画通り行った。大学院講義は観測的宇宙論や天体物理学の基礎について輪講形式で行った。				
研究	0.30	磁場を伴う高密度星計算法の定式化と数値計算コードの開発を進め, 関連論文を2編投稿することを目標にする。共同研究者との相互訪問を実現するか, またはテレコンファレンスを利用して協力関係の緊密化を図る。関連する国際会議や学会において研究発表を行う。				0.20	連星ブラックホールに関する論文を1編出版し, 磁場を伴う高密度星に関する論文を投稿中である。共同研究者を米国より招へい(3月)予定。高密度天体の国際研究会において磁場を伴う高密度星計算法の定式化と数値計算コードの開発について発表した(口頭1件, ポスター1件)。科研費(基盤C)に応募した。				
社会貢献	0.05	教員免許状更新講習の講師として, 「パソコンで学ぶ物理学」について講習を行う。特に天文学・宇宙物理学のインターネットリソースを紹介と利用法について講演する。物理系公開講座の開催に貢献する。				0.05	計画通り教員免許状更新講習の講師として講習を行った。物理系公開講座に参加しインターネット上の天文学・宇宙物理学のコンテンツの紹介などを行った。理学部体験ツアーで物理系の紹介を行った。				
管理運営	0.25	物理系主任として, 系の事務上の統括を行う。系の意見の集約や理学部と物理系間の意見交換を行う。また, 理学部各種委員会での業務に貢献する。				0.45	物理系主任として, 系の事務上の統括を行った。理学部各種委員会での業務に貢献した。また, 系の人事を進めた。				
進路指導	0.10	4年次指導教員として, 4年次学生の進路指導を含む全般的な指導に当たる。研究室内の4年次の学生及び物理系の学生の進路に関する助言等を行う。また, 物理系の宇宙科学に関係する進路を希望する学生に対し助言等を行う。				0.10	4年次学生の進路希望の把握に努め, 就職や大学院進学など各学生の進路相談に対応した。また研究室の学生2名の進路に関する助言を行った。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		前野 昌弘	所 属		理学部 物質地球科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPCを用いた物理シミュレーション教材のコンテンツを整備する。 ・Webを利用して講義録、教材提供などを行う。 ・「教職実践演習」は初めての授業となるので、高校教員などと連携も図りつつ、授業内容を充実させる。 			0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・物理シミュレーションプログラムは電磁気学の他、力学・物理数学などを多数追加した。 ・講義録とプログラムのweb公開は好評である。 ・教職実践演習は充実した内容とできた。 		
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・超弦理論または量子重力などの分野の研究を行い、専門誌に論文を投稿する。 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・弦の場の量子論その他についての研究を行ったが、今年度は発表できる成果がなかった。 		
社会貢献	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・「青少年のための科学の祭典・沖縄大会」の実行委員長を務める。 ・物理系の公開講座の実行委員を務める。 ・高校の物理教員との連携事業を進める。 ・小学校などの初等教育への出前授業等も積極的に展開していく。 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントは滞りなく終了した。 ・球陽高校のSSH運営委員を務めた。 ・小中高校への出前授業などを積極的に行った。 		
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・物理系の広報委員として、物理系ホームページを管理する。 ・高等学校への広報活動を行う。 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ管理を行った。 ・高等学校には物理系パンフレットを配布した。 		
進路指導	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生、卒業研究生の進路について、相談に乗る。 			0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の卒研究生はみな大学院に進学した。進学先について相談にのった。 		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
<p>※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。</p>					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		堺 英二郎		所 属		理学部 物質地球科学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	4年次の指導教員として、教育指導に努める。 卒研生の研究指導を行う。 新入生の学力向上のために、物理学Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎演習Ⅱなどで成果を上げる。 カリキュラムの改善に取り組む。 担当授業の内容をさらに充実させる。				0.30	4年次の指導教員として、4年次学生の教育指導に努めた。院生に対しクリエイティブな講義を行った。卒研究生については、本人が置かれている状況に柔軟に対応してきめ細かい指導を行った。物理学ⅠⅡや物理学基礎演習Ⅱの授業を担当し、新入生の基礎学力の向上に努めた。カリキュラムについては、カリキュラム検討委員として、授業分担の適正化を図るとともに、カリキュラムの改善に向けて引き続き検討を進めている。				
研究	0.30	物理学基礎論の研究をさらに進展させる。				0.30	量子力学を基本原理に基づいて理論構築する研究をさらに深めるとともに、新たに力学を基本原理に基づいて理論構築することに取り組み、重要な発展があった。				
社会貢献	0.05	理学部体験ツアーや出前講座などに可能な協力をする。 担当授業を公開授業として一般に公開する。				0.05	理学部体験ツアーや出前講座には具体的な貢献はできなかった。				
管理運営	0.15	教授会、系会議等に主体的に参加し、学部・学科の運営に協力する。				0.15	教授会、系会議等に主体的に参加した。				
進路指導	0.20	4年次の指導教員として、適切な進路指導に努める。 卒研生の進路指導を行う。				0.20	4年次の指導教員として、適切な進路指導に努めた。 卒研生の進路指導を行った。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)								
名 前		安田 千寿	所 属		理学部 物質地球科学科 物理系	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・担当講義のシラバスの受講者への周知を徹底させる。 ・講義中にアンケートや確認テストを行い、学生の修得度の現状把握に努めながら講義を進める。 ・大学院の担当講義において、学内のコンピューター施設を利用した講義を行う。 ・学生が自学自習できる環境を整える。 ・FDに関する講演会等に参加する。 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する科目のシラバスや学生の自己評価のためのチェックシートを作成配布し、学生の自己学習を促した。 ・1年次の科目において、アンケートや基礎力テストを行い、高校における物理や微分積分の修得状況等を知り、授業の進め方に役立てた。 ・レポートの書き方をまとめた資料を配布し、レポートの評価基準を明示した。 ・大学院の担当講義において、学内ランを使用したプログラミング実習を行った。 ・大学院の担当講義を受講している学生がいつでも自己学習できるように、いつでもログインできるコンピューターを用意した。 ・情報セキュリティに関するFD講演会に参加した。 			
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・研究に必要なコンピューター計算資源を獲得する。 ・論文を作成し、投稿する。 ・学会で研究成果を発表する。 ・外部資金の獲得を目指す。 ・学内や他大学等との共同研究を推進する。 ・研究会を開催する。 		0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学物性研究所スーパーコンピューターシステムの共同利用申請を行い、プロジェクトが採択された。 ・研究会や日本物理学会で研究成果を発表した。 ・科研費(挑戦的萌芽研究)を獲得した。 ・他大学の研究者との共同研究を推進した。 ・研究会「物性理論研究会」の世話人として研究会を徳島で開催した。 			
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の雑誌から依頼される論文の閲読を行う。 ・担当する授業を一般市民や高校生に公開する。 ・教員免許状更新講習科目を開講する。 ・共同利用施設の運営に協力する。 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する科目「物理学入門I」と「物理学入門II」を一般市民や高校生に公開し、のべ3名の受講生に授業を公開した。 ・教員免許状更新講習科目「パソコンで学ぶ物理学」を開講した。 ・学外共同利用施設の運営に協力した。 			
管理運営	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・理学部図書委員として、図書に関する業務に従事する。 ・大学入試や大学院入試に関するデータを収集する。 		0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・理学部の図書委員として業務に従事した。 ・入試に関連するデータを収集した。 ・その他の学内委員の業務に従事した。 			
進路指導	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する卒研究生・大学院生の就職や大学院進学に関する指導を行う。 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する卒研究生の大学院進学に関する指導を行った。 ・担当する大学院生の就職に関する指導を行った。 			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		柳澤 将	所 属	理学部 物質地球科学科	職 名	助教
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.25	物理系1年生の講義(基礎ゼミ、基礎演習II)では、昨年度よりも学生の声に傾聴する。共通教育(物理学II)では、講義が数式にたよりがちにならないよう、本質的な理解につながるような講義の工夫をする。		0.20	共通教育では、教科書の内容を伝えるだけでなく、その内容がどのような研究や応用につながるかを伝えるようにし、興味喚起を狙った。物理系1年次の基礎ゼミでは、物理をはじめ大学で勉強できる他の分野・話題への興味喚起のための話題提供を行い、良い反応を得られたと思う。	
研究	0.30	昨年度よりもさらに投稿論文の質・量の向上を狙う。また、実験家との共同研究も進めながら、そのような共同研究をベースとした科研費獲得を目指す。		0.35	昨年度よりも、国際誌での掲載論文の質・量を向上することができた。また、実験家や他の理論研究者との共同研究もいくつか開始・進行することができた。科研費獲得に向けて学内の応募書類相談制度を利用し、応募書類の改善を進めた。	
社会貢献	0.15	研究成果の中で化学に含まれるテーマもいくつか出てきているので、化学のコミュニティへの成果発信を進める。実験家により多く成果を発信し、自身の研究の展開に資するような成果発表を増やす。		0.15	日本化学会九州支部主催の会議に参加し、研究発表や情報収集を進めた。また、理論化学の日本-チェコ交流の国際会議で招待講演の機会を得て、情報収集や国内外の理論化学研究者との交流を深める事が出来た。大学のオープンキャンパスで高校生に簡単な研究の話題提供をし、物理系の情報提供に協力できた。	
管理運営	0.10	昨年に続き、地域貢献推進委員として、物理系の社会・地域貢献活動成果のとりまとめを行う。1年次指導教員として、他学年の指導教員と連携して物理系の行事や事務の運営に強力する。		0.10	地域貢献支援委員の仕事は問題なくこなせた。日韓共同理工系学部留学生実施委員会委員の仕事として、韓国での留学希望者説明会に提供する理学部各系からの情報・パンフレットのとりまとめを行った。物理系では1年次指導教員として、日頃の学生への指導を行ない、1・3研修にも参加した。	
進路指導	0.20	研究指導する大学院生・4年生の就職活動の様子を見ながら、与える課題や研究テーマの配分を慎重に決める。1年次指導教員としては、学生が今後のことや悩みなど相談しやすい雰囲気づくりに努める。		0.20	1年次指導教員になり、1年次の学習や就職に関する相談に対応した。特定の数名の1年生からは、月に1-2回程は訪問を受けて、学習などの相談を受けている。研究指導する4年次はいずれも来春就職予定だが、就職活動のための時間も取れるように研究指導の時間配分を工夫した。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		仲間 隆男		所 属		理学部 物質地球科学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	教育補助としてTAを活用する。 物理実験II, IV(専門科目) 卒業研究:卒研生(4人)の指導 大学院前期課程学生(2人)および後期課程(3人)の指導 大学院前期科目:物質地球科学特別研究・物質地球科学特別演習など				0.30	共通教育科目「物理学入門I&II」および「人間と物理学」を担当した。 専門科目「物理学実験II&IV」を担当, 実験補助でTAを活用(3名). 卒業研究指導(4名)および研究指導(修士2名, 博士3名)				
研究	0.30	学会への参加 国内および国際学会への参加 論文発表 論文および紀要の投稿 外部および学内資金の獲得を目指す 共同研究を行う				0.30	物理学会参加, その他研究会, 研究発表21件. 国際会議研究発表11件. 発表論文10編. 東大物性研と共同研究.				
社会貢献	0.10	オープンキャンパス, 理学部体験ツアーへの参加				0.10	理学部体験ツアーにて研究室の紹介を行った.				
管理運営	0.20	系内委員:TA担当委員, カリキュラム検討委員 学部委員:概要編集委員, 予算編成検討部会 極低温センター長, 環境安全管理委員(全学)				0.20	系内, 学部, 全学委員として運営に協力した. 極低温センター長として運営に携わった.				
進路指導	0.10	卒研生および大学院生へ就職指導を行う				0.10	進路指導を適宜行った. 大学院進学希望者3名, 公務員1名, 民間企業2名.				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)								
名 前		二木治雄	所 属		理学部 物質地球科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 共通教育科目, 学部専門科目を担当する。 大学院教育科目を担当する。 共通教育科目, 学部専門科目の学生による授業評価を実施する。 オフィスアワー等の時間を確保し, 学生の学習上の質問や相談に積極的に対応する。 卒業研究生, 修士学生の研究指導を行う。 実験科目に教育補助としてTAを活用し, TAを指導する。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> 共通教育科目, 学部専門科目を担当した。 大学院教育科目を担当した。 各科目の授業評価を実施した。 学生からの質問に丁寧に対応した。 卒研究生の教育研究指導および修士学生を教育研究指導し学会発表を行った。 物理学実験にTAを活用し, TAを指導した。 			
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 学術論文を投稿, 発表する。 所属する学会等で研究発表を行う。 国際会議等で発表を行う。 外部資金の獲得の準備, 応募を行う。 他大学あるいは他研究所と共同研究を行う。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> 学術論文(国際誌)を投稿し, 論文化した。 所属する学会等で研究発表を行った。 日本物理学会と国際会議で発表を行った。 外部資金の獲得の準備, 応募を行なった。 他大学と国内的共同研究を行った。 			
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 理学部体験タワー, オープンキャンパス等で研究や研究室紹介を行う。 学外の委員会の委員を務める。 学会・研究会等の委員を務める。 学内・学外からの要請があれば, 積極的に対応する。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 理学部体験タワー, オープンキャンパスで研究紹介, 研究室紹介を行った。 学外の委員会の委員を務め, 積極的に対応した。 学会・研究会等の委員を務め, 積極的に対応した。 学外からの要請があるときには, 積極的に対応した。 			
管理運営	0.25	<ul style="list-style-type: none"> 大学内の委員として, 大学の管理運営に参加する。 理学部内の委員として部局の運営に寄与する。 系内の委員として系の管理運営に参加する。 学内からの要請があれば, 積極的に対応する。 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> 大学内の委員として, 大学の管理運営に積極的に参加し, 対応した。 理学部内の委員として部局の運営に寄与した。 系内の委員として系の管理運営に参加した。 学内からの要請があるときには, 積極的に対応した。 			
進路指導	0.05	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究の学生の就職・進学等の指導を行う。 修士学生の就職・進学等の指導を行う。 学生の就職・進学等の進路についての相談等に積極的に対応する。 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究の学生の就職・進学等の指導にあたった。 修士学生の就職・進学等の指導にあたった。 学生からの就職, 進学等の進路についての相談等に積極的に対応した。 			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		深水 孝則	所 属		理学部 物質地球科学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.35	共通教育科目の「物理学I、II」、学部専門科目の「物理実験Ⅲ、IV」、「物理学基礎実験」、大学院教育科目の「誘電体論」の講義を担当する。前期「物理学I」のクラスは高校で物理学を履修していない学生のためのクラスであり、適宜小テストなどを行い学生の理解度を確認しながら授業を進める。研究室に配属された卒業研究生4名、及び大学院修士学生2名の研究指導を行う。		0.35	学部の共通教育と専門の講義及び大学院の講義を担当した。また、物理学I、IIの講義で小テストを実施し教育的効果を上げた。卒業研究生4名の研究指導を行った。大学院学生1名の研究指導を行い、修士論文の作成の指導も行った。
研究	0.40	国際的な学会誌への論文の投稿を行うことを目標として、研究を推進する。また、外部資金の獲得のため、科研費などに応募し、外部資金の獲得を目指す。		0.40	今年度は国際誌に論文を投稿しなかった。しかし、投稿準備中の論文が1篇あり、年度内に投稿予定である。
社会貢献	0.10	他大学の非常勤講師として、専門性を生かした教育支援を行って学部学生のコンピュータ技術の向上を図る。		0.10	他大学で情報関係の講義を行い、学生のコンピュータ技術の向上を図った。今年度、社会貢献に関する依頼がなかったため、その他の社会的貢献は行わなかった。
管理運営	0.10	学部内委員のエコ推進委員および国際交流委員会の運営委員として管理運営に参加する。		0.10	担当する理学部内の運営委員として会議に出席し活動を行った。また、エコ推進委員会委員長として積極的に活動を行った。
進路指導	0.05	研究室に所属している卒業研究生や大学院修士学生の進路や就職先についてサポートを行う。		0.05	研究室の卒業研究生の就職に関してサポートを行った。
	0.00			0.00	
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。

学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		小田一郎	所 属		理学部 物質地球科学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.40	「初等量子力学」や「量子力学」では、学生たちが量子力学の基本的な事項を理解できるように、わかりやすい授業を行う。「情報科学演習」では、すべての学生が「情報リテラシー」の基礎的な能力がつくように、毎回オリジナルなプリントを用意して授業を行う。また両科目とも授業アンケートを実施し、教育効果を検証する。卒業研究学生、修士課程の学生1名、研究生1名を指導する。		0.30	計画通り実行できたので、評価できる。
研究	0.40	この期間中に、現象論や量子重力理論に関する論文を3本以上専門雑誌に出版することを目指す。		0.30	海外専門雑誌に3本の論文が掲載された。
社会貢献	0.00	特になし。		0.00	今年は特に何も行わなかった。
管理運営	0.10	理学部の自己評価委員に選ばれているので、管理運営に寄与したい。		0.20	委員会にはほとんど出席し、活動も行ったので評価できる。特に、自己評価書の一部分を作成した。
進路指導	0.10	卒業研究学生の進路指導の相談にのりたい。		0.20	学部4年生2名は大学院進学(琉球大学1名、大阪大学1名)が決まった。また、フランスからの私費留学生は無事終了し、本国の大学院に復帰した。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		眞榮平 孝裕	所 属		理学部 物質地球科学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	学部学生に対しては、相対論と統計力学特論の講義と卒業研究Iのセミナー指導を行う。また、大学院学生に対しては、物性学特論の講義と特別演習、特別研究の指導を行う。相対論についてはノートパッドを導入し、学生の理解度を把握しながら視覚的に授業を進めていく。 物性学特論については、物性物理学の基礎的な事項から出発して、研究の最前線で行われているテーマについても講義する。 卒業研究生、大学院生を指導する。 講義時間以外についても、学生からの質問があれば積極的に指導する。		0.30	学部学生に対しては、力学の講義と卒業研究Iのセミナー指導を行った。力学については口頭試問を実施し、学生の理解度の把握に努め、授業に活かした。また、大学院学生に対しては、物性学特論の講義と特別演習、特別研究の指導を行った。物性学特論については、物性物理学の基礎的な事項から出発して、研究の最前線で行われているテーマについても講義を行った。 卒業研究生、大学院生を指導した。 講義時間以外にも、学生からの質問があり指導した。
研究	0.40	科研費基盤研究(C)「強相関化合物におけるf電子の局在・非局在転移近傍の一粒子描像に関する研究」研究の遂行のため解析を進める。 関連論文を国際紙に投稿することを目標にする。 関連する国際会議や所属する学会で研究発表を行う。 他大学あるいは他研究所と国内的共同研究を行う。		0.40	科研費基盤研究(C)「強相関化合物におけるf電子の局在・非局在転移近傍の一粒子描像に関する研究」研究の遂行のため解析を進めた。 関連論文を国際紙に投稿した。 関連学会にて研究発表を行った。 他大学あるいは他研究所と国内的共同研究を進めた。
社会貢献	0.15	琉球大学公開講座へ貢献する。霧箱を製作し、「霧箱で素粒子を見る」というタイトルで講演、演示実験を行い物理の魅力の紹介を行う。 県内の小中高校および公的機関に出前授業を行う。 沖縄県商工会連合会との連携を進め、合同会議や講演などに参加する。		0.15	琉球大学公開講座:体験!最先端物理学の世界2013「ボーア模型百周年」へ貢献した。霧箱を製作し、「霧箱で素粒子を見る」というタイトルで演示実験を行い物理の魅力の紹介を行った。
管理運営	0.10	系内システム委員として、メールサーバー、計算機サーバーの管理運営を行う。 紀要編集委員として、研究成果のとりまとめを行う。		0.10	系内システム委員として、メールサーバー、計算機サーバーの管理運営を行った。 紀要編集委員として、研究成果のとりまとめを行い2つの号を発行した。
進路指導	0.05	卒業研究生、大学院生の進路に対する助言等を行う。 学生からの相談があれば積極的に指導する。		0.05	卒業研究生、大学院生の進路に対する助言等を行った。 学生からの相談があり、助言と指導をおこなった。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		田原 周太	所 属		理学部 物質地球科学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.35	物理学実験で工学部(前期)及び医学部(後期)の1年生への実験指導を行う。また、大学院生を対象とした講義「構造不規則系の物性論」を開講する。大学院生・卒業研究生の指導として研究室ゼミ、実験指導、卒論指導などを行う。			0.35	当初の予定通り、担当する授業を通して、学生に教育活動を行った。また卒業研究の指導を通して、実験技法やシミュレーション技術、液体の原子運動の議論について、指導を行った。外部研究所から研究者を招いて、3年生以上の学生に集中講義を通して不規則系物質の講義を受ける機会を作った。		
研究	0.45	超イオン導電体や熔融塩混合系に対する高エネルギー粒子線を用いた散乱実験やイオン伝導率測定、誘起分極イオンモデルを用いた分子動力学シミュレーションによるイオン拡散の研究を行う。外部資金獲得のため、数件の申請を行う。			0.45	SPring-8において、熔融CuI-AgI混合系の高エネルギーX線回折実験を実行し、分子動力学シミュレーションをおこなった。またSPring-8のBI13XUビームラインにおいて、X線異常散乱実験の立ち上げを行った。外部資金獲得のため、科研費若手Bに申請を出した。		
社会貢献	0.05	佐賀シンクロトン光大学間連携会議委員、琉球大学物性研究会実行委員として、活動を行う予定である。			0.05	琉球大学物性研究会実行委員として、活動した。		
管理運営	0.10	理学部物質地球科学科の物理系会議(毎週水曜日)へ参加する。研究科委員会(前期)にも参加する。2年次指導教員として、2年次生の大学生活をサポートする。理学部選挙管理委員会委員として活動を行う。物理系懇親会幹事として活動する。			0.10	やむを得ない事情による欠席を除いて、物理系会議・研究科委員会(前期)へ参加した。2年次指導教員として、学生のサポートを行った。理学部選挙管理委員会として、理学部内の人事の時に、活動した。物理系親睦会幹事として、忘年会を企画・実行した。		
進路指導	0.05	研究室配属学生へ就職関連の情報提供を行うなどして支援する。2年次指導教員として、情報提供を行う。			0.05	研究室配属学生や2年次生に指導教員として、情報提供を行った。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		松本 剛	所 属	理学部 物質地球科学科	職 名	教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き、本学の特色である「海の科学」に関する共通教育、専門教育、大学院教育のための科目を提供する。 ・国立天文台と連携して、本学で天文学を学ぶことを希望する学生への便宜を図り、併せて、本学の天文専攻院生への指導を充実させる。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・昼間・夜間主向け「海洋の科学」を提供し、計158名の受講者があった。今年度は特に夜間主の受講者が増加した。大学院科目の「地球及び惑星重力論」では、受講者の希望により、研究に役立つツールである球関数展開、ベイズ潮汐解析を新たに取り入れた。 ・学部生3名、院生1名が天文を専攻し、全員が卒業・修了した。 	
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は特に、陸上・海底での地汙りに関する研究を推進するため、5月に開催される地球惑星科学連合大会に関連発表を複数行い、この席でのdiscussionを踏まえて研究を進展させる。 ・沖縄トラフ掘削研究(日韓共同研究チームによる)の方針策定を進める。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆大島の土石流被害箇所について、地形との関連性を考察した。しかし、学会発表件数が多くなるため、26年度の発表は見送ることとした。これとは別に、「みらい」チリ航海の成果論文2編をGeochemical Journalに公表した。 ・5月の箱根でのワークショップに出席し、日韓台研究者と討議を行った。 	
社会貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・一般及び高校生向け公開授業を提供し、本学の資産である「海の科学」の啓蒙普及に資する。 ・教員免許更新講習に於いて、防災教育に関する科目を提供し、県内初等中等教育における防災教育の充実に資する。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・「海洋の科学」を公開授業とし、一般計9名と高校生1名の受講があった。また、県外高校の修学旅行生について、体験授業を計3回行った。 ・西原・宮古で講習を各1回行い、計15名が受講した。全員合格とし、選択領域6時間の修了認定を行った。 	
管理運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き理学部教育委員会委員として、学部及び大学院の教育水準の向上を目指す。 ・引続き留学生センター運営委員として、留学生の修学環境の整備に従事する。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋環境学専攻主任も兼任し、大学院の質の向上として、学位審査に他講座・他大学教員が加わる体制を整備した。また、研究の不正防止のための方策についての議論に加わった。 ・短期留学生の修了判定に携わった。 	
進路指導	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き就職センター長として、全学の学生へのキャリア科目の提供と進路決定の支援を行う。 ・引続き教員養成運営委員として、理学部から質の高い教員を輩出するための施策を実施する。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・学内合同企業説明会、就活セミナー、県外就活支援、海外職場体験などの事業を行い、また沖縄県大学就職指導研究協議会の会長として、県や経済団体との連携を行った。 ・介護等体験の事前学習を新規導入した結果、体験先からのクレームがなくなり、質の向上に貢献出来た。 	
	0.00			0.00		
計	1.00			1.00		

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。

学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		山田 広幸	所 属		理学部 物質地球科学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から開講する「気象学」「気象学実験」「気象学特論」を、受講者の能力・学習態度を考慮しながら進める。 赴任後初めてとなる卒業研究の指導を実施する。 兼務となる京都大学防災研究所の集中講義を実施する。 		0.35	<ul style="list-style-type: none"> 「気象学」「気象学実験」「気象学特論」の講義資料の準備、講義と試験の実施を予定通り遂行することが出来た。 3名の4年次学生に対する卒業研究の指導を行った。 京都大学防災研究所の集中講義を12/2-3に実施した。
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 新規の科研費2件(基盤C代表、および基盤B分担)の研究を計画通りに進める。 兼務となるJAMSTECでの集中観測に参加し、データ解析を行う。 JAXAとの共同研究である衛星データ解析を行う。 沖縄電磁波技術センターの気象レーダーを用いた研究を進める。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> 科研費に関する装置の導入、設置、動作確認を行った。 JAMSTECのパラオ域集中観測に参加し(6/15-30)、データ取得を行った。 衛星データの収集と初期解析を行った。 沖縄電磁波技術センターと共同で2010年奄美豪雨の事例解析を行った。
社会 貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 熱帯気象研究会を琉球大学で開催し、運営全般を引き受ける。 非静力学気象モデルCReSSの研究集会を琉球大学で開催する。 NPO法人「沖縄台風センター研究会」と連携した活動を行う。 日本気象学会の国際誌JMSJ/SOLAの編集委員を継続する。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 熱帯気象研究会を開催し、運営を無事遂行することができた。 CReSS研究会の準備(会場の選定など)を行った。 日本気象学会のJMSJ/SOLAの編集作業に従事した(計6編担当)。
管理 運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 琉球大学理学部気象ステーションの維持管理を行う。 琉球大学理学部紀要の編集に従事する。 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> 気象ステーションの装置全般の更新を行った。 理学部紀要(年2回発行)の編集作業に従事した。
進路 指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 研究室に所属する卒業研究生の進路や就職についてサポートを行う。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 3名の卒業予定者について、2名が大学院へ進学が決まり、1名が公務員試験に来年度再挑戦することになった。
	0.00			0.00	
計	1.00			1.00	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		中村 衛	所 属	理学部 物質地球科学科	職 名	准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	新規授業科目として地震学実験を開講し、地球物理関連教育の充実を図る		0.20	地震学実験を新規で開講した結果、11名(4年次2名、3年次9名)が受講した。学生アンケートによる総合評価は5段階で4.4(良い～大変良い)であった。	
研究	0.30	琉球海溝での巨大地震津波発生可能性研究を推進するため、他大学との共同研究を進める。研究成果を国内外で学会発表・論文投稿する。		0.30	今年度は海底地殻変動調査を実施することはできなかった。沖縄本島にて津波堆積物調査を実施した。台湾にて津波堆積物野外調査を桜美林大との共同研究で実施した。査読論文2本、査読無論文1本、国内発表3回、国外発表3回。	
社会貢献	0.30	マスコミおよびインターネットを通じた研究広報活動を行う。一般向け講演活動を行い防災活動の普及に努める。		0.30	一般向け・教員向け等に地震津波防災に関する講演を5回実施した。研究成果および沖縄の地震津波に関する取材を新聞各社(沖縄タイムス、琉球新報、NHK)から受け、掲載された。NHKで取材されたものはアーカイブスとして利用され真和志高校での防災授業で使用された。沖縄県地震被害想定検討委員会に委員として参画した。	
管理運営	0.10	理学部電算化委員会委員および全学情報セキュリティ委員会委員として理学部計算機室の運営および理学部内情報システムのセキュリティ管理に務める。代議員として運営に当たる。		0.10	電算化委員会委員および琉球大学全学情報システム運用委員会委員として全学情報セキュリティ業務・およびセキュリティ業務に関する学内研修会に参加した。代議員、研究推進委員会および乗船実習委員会にて活動した。	
進路指導	0.10	就職セミナーおよびインターンシップへの学生の参加を促す。就職活動状況の把握に努める		0.10	就職セミナーへ参加を促し、さらに学内で行われた就職支援策への参加を促した。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		藤田 和彦	所 属		理学部 物質地球科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	1. 担当科目の講義形式と内容の改善に努める。 2. 今年度開講予定の講義の準備を進める。			0.25	1. 地史学実験を今年度から宮古島で行い、実習内容を改め、資料を改訂した。 2. 後期に「地層学」を新たに開講し、層序学・堆積学・地史学の基礎を学生に習得させる工夫を行った。		
研究	0.30	1. 国際学術雑誌への論文受理を目指す。 2. 国内外の関連学会にて研究成果を発表する。 3. 海外の大学との国際共同研究を進展させる。 4. 大型研究費の獲得に向けた準備を進める。			0.35	1. 有孔虫の水温ストレス応答に関する論文(第一著者)がPLOS ONEに受理された。その他、国内誌1編、国内商業誌1編、本の分担執筆1編(いずれも第一著者)が公表された。 2. 日本古生物学会や海洋バイオテクノロジー学会でのシンポジウム講演を含む計9回の学会発表を行った。 3. オーストリアの研究者との共同研究を開始した。 4. 次の科研費の構想を検討した。		
社会貢献	0.10	教員免許更新講習「琉球列島の成り立ち(野外地質巡検)」を準備・実施する。			0.15	20名弱の教員を対象に教員免許更新講習を実施した。 また、第11管区海上保安部主催の第142回水路記念日講演会や、石油技術協会炭酸塩岩分科会で講演を行った。		
管理運営	0.20	1. 理学部の各種委員会(広報委員会、学生支援委員会、将来計画委員会)の活動に積極的に取り組む。 2. 地学系の広報活動(ホームページの更新・パンフレットの改訂・高校訪問等)に取り組む。			0.10	1. 学生支援委員会で就職説明会の開催やニュースレターの作成に尽力した。将来計画委員会で「理学部ミッションの再定義」の作成に関わった。 2. 地学系の広報活動については十分な貢献ができなかった。		
進路指導	0.10	学生とのコミュニケーションを常に心がけ、進路の相談に当たる。			0.15	昨年度留年した大学院生を修了させることができた。適宜、学生の進路相談に応じた。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		浅海 竜司	所 属		理学部 物質地球科学科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.40	「地球の科学(共通)」、「基礎ゼミ(必, 学部1年次)」、「海洋地学実習(必, 学部1年次)」、「古環境学(選, 学部2年次)」、「炭酸塩地球科学(選, 学部3年次)」、「海洋地学研究法I・II(必, 学部3年次)」、「地史学実習(選, 学部3年次)」、「海洋地学セミナーI・II(必, 学部4年次)」、「卒業研究I・II(必, 学部4年次)」を担当し、教育力の向上と経験を積む。		0.55	「地球の科学(共通)」、「基礎ゼミ(必, 学部1年次)」、「海洋地学実習(必, 学部1年次)」、「古環境学(選, 学部2年次)」、「炭酸塩地球科学(選, 学部3年次)」、「海洋地学研究法I・II(必, 学部3年次)」、「地史学実習(選, 学部3年次)」、「海洋地学セミナーI・II(必, 学部4年次)」、「卒業研究I・II(必, 学部4年次)」を担当した。幅広い学年層を対象とし、複数形態の授業を実施したことで、当初の目標以上に、教育力の向上と経験を積むことができた。また、研究室7名(学部4年4名, 3年3名)の教育指導に力を注いだ。
研究	0.40	炭酸塩生物(サンゴ, シャコガイ, 硬骨海綿, 腕足動物など)や鍾乳石を用いた太平洋熱帯～亜熱帯域における近現代～第四紀の環境解析研究を推進する。科学研究費補助金, 国際サンゴ礁研究ハブ形成プロジェクト経費を用いて実施する。		0.30	科学研究費補助金(若手B代表, 基盤B分担), 国際サンゴ礁研究ハブ形成プロジェクト経費を獲得し, 研究を推進した。成果として, 査読付ISI国際学術論文(5編), 国際学会(1件), 国内学会(4件)で発表した。また, 所属部局内外との共同研究(10件)なども実施し, 当初の目標を十分に達成できた。
社会貢献	0.05	オープンキャンパスを通して, 自然科学・地球科学の面白さを県内の中高生や一般の方にわかりやすく紹介する。		0.02	オープンキャンパスを通して, 自然科学・地球科学の面白さを県内の中高生や一般の方に伝え, 理学の社会普及に努めた。
管理運営	0.10	大学, 理学部地球物質科学科の管理運営に貢献する。		0.10	理学部教授会, 理工学研究科(前期)委員会に参加し, 選挙管理委員として貢献した。また, センター試験, 大学院入試の試験監督を担当するとともに, 大学入試二次試験問題の点検委員, 大学院入試の作成も担当した。
進路指導	0.05	研究室の学部4年生(4名)の意向を尊重し, 就職活動・進学に関して柔軟に相談を受け, アドバイスをする。		0.03	研究室所属の学部4年生(4名)と3年生(3名)に対して定期的にコンタクトを取り, 各自の意向を尊重して進路(就職活動・進学)のアドバイスをした。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	